

指導資料

 鹿児島県総合教育センター

国語 第131号

—小学校，特別支援学校対象—
平成26年10月発行

鹿児島学習定着度調査を生かした小学校国語科の指導法改善

本調査の趣旨は，学習指導要領において求められている基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する学力状況を把握し，それを基に，授業において問題解決的な学習活動を取り入れるなど，指導法の改善を図るところにある。

本稿は，児童生徒の学力向上に向けた参考資料として広く活用していただけるよう，短期研修講座「鹿児島学習定着度調査を指導法改善に生かす小中学校国語講座」でお伝えしている内容や，講座中の研究協議において話題に上がった授業充実のための具体策等について整理したものである。

1 「基礎・基本」に関する内容について —「意図的・計画的な語彙の習得」を—

「基礎・基本」については，概ね定着しているが，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のことわざや対義語を問う問題，「話すこと・聞くこと」の話の構成や内容上の工夫に注意して聞くことに課題がある。

右の問題③について，1の通過率は83.4%であったのに対し，2は20.8%だった。「心配⇔安心」，「うれしい⇔かなしい」などの気持ちを表す言葉や，位置関係を示す「上⇔下

「高い⇔低い」などは，対義語としてよく扱われるが，2のような言葉にはなじみが薄かったため，「内」⇔「外」を手掛かりに，エを選択する傾向が高かった。

2	1	③ 一次の言葉と意味が反対になる言葉の中から選んで，その記号を□に書きましょう。
内容	心配	
ア 原因 イ 洋式 ウ 形式 エ 外用	ア 不安 イ 安心 ウ 活動 エ 安全	
□	□	
(正解 ウ)	(正解 イ)	

この状況を改善するためには，意図的・計画的に，無理なく語彙量を増やす機会を設定する必要がある。実際多くの学校で，朝の活動時や帯の時間の活用，学級だよりや週報への掲載など，様々な取組がなされている。

ここに，一つの例を紹介したい(図1)。これは，新出漢字や言葉の意味等について，次の単元に入る前に教科書を見ながら整理しておくための予習シートである。

国語予習シート

績	任	責	災	防	余	断	夢	予	単元名 伝記を読んで、自分の 生き方について考えよう 教材名 百年後、ふること 作者(筆者) 河田恵昭
セキ	まかせ引	せいの	セキ	サイ	ホク	ヨ	ゆめ	新出漢字	
功績成績	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	責任を命 人に任せる 仕事を任ず	調べたい言葉
	貧	政	敵	態	謝	識	義		
	マシイ	セイ	テキ	タイ	シヤ	シキ	ギ		
	貧しい	政治政府	強敵天敵	事態態度	感謝謝礼	意識知識	意義正義		
	内容	安心	はげしい	(反対の 意味の言葉)	実を述べた 努力のたまひ	たゆまず 油断せず	(言葉の 意味)		
	形式	不安、心配	おだやか						

図1 国語予習シートの例

「調べたい言葉」の欄については、例えば「この単元では、言葉の意味と反対の意味の言葉について、それぞれ三つ以上調べて書いてきなさい。」などと指示するようにする。児童が調べてきた言葉はそれぞれ違うので、グループで交流する時間を設定したり、短冊等に書かせて教室に掲示したりすると、児童自らの力で語彙量を増やすことができるというよさがある。

ただし、その際には、児童に任せっぱなしにしないで、教師は意図的に指導すべき言葉を選び、語彙量を増やす手立てをとる必要がある。例えば、ここで取り上げた教材文の冒頭では、「はげしい」と「ゆったり」が対比的に用いられているが、では両者が対義語の関係にあるかを辞典で調べてみると、「はげしい」の対義語は、「おだやか」となっている。「では、『ゆったり』の反対の意味の言葉は何ですか。調べてごらん。」といった発問につなぐことができる。「安心」、「内容」と

いった、本調査で扱われた語についてもこの教材文に含まれているので、ここで取り上げて指導したいものである。

2 「思考・表現」に関する内容について

一言語活動を通して指導事項を指導する一

小学校学習指導要領解説国語編 12 ページには、次の記載がある。

「(前略) (2) に示している言語活動例を通して、(1) の指導事項を指導することを一層明確にし、各領域の能力を確実に身に付ける(後略)」

言語活動の充実については、平成 20 年の中教審答申を契機に各学校で様々な実践がなされる一方で、言語活動そのものが目的化してしまっただけの傾向もある。改めて、言語活動とは、各領域の目標(能力、態度)達成に向けた「手段」であること、「指導事項を指導する」のが国語科の指導であることを、確認する必要がある。

本調査問題は、日頃の授業同様、ねらいとする指導事項を明確にし、その達成状況を評価して指導に生かすことができるように作成されている。

下に示してあるのは、思考・表現に関する「話す・聞く」の問題7-2の正答例である。

正答例

(今回のインタビューで、) 山中先生が本のすばらしさを身をもって教えてくださろうとしていることを初めて知り、心を打たれました。先生のお気持ちがみんなに伝わるように、誤りのない記事を書こうと思います。(98字)

下線…ア, 下線…イ, 下線…ウ

この正答例は何をもって正答と言えるかについて考察すると、次のようになる。

正答例が正答である理由

- ア 話し手の意図を、その発言に基づいて捉えている。
- イ 捉えた意図を踏まえた自分の感想をまとめている。
- ウ 相手の意図と自分の感想とをつなぐ表現を用いている。

この三つの理由を、ポイントとして簡潔にまとめると、次のようになる。

理由のポイント

- ア 話し手の意図
- イ 話し手の意図に対する自分の感想
- ウ インタビューの感想として整った表現

そしてこの三つのポイントは、次の指導事項が基になっていることが分かる。

学習指導要領における内容

- 第5・6学年「A話すこと・聞くこと」
(1)エ 話し手の意図をとらえながら聞き、
自分の意見と比べるなどして考えをまとめること（下線は筆者による。）

ちなみに、各学校に配布されている解答資料には、観点1として「ア」と「イ」の内容が、観点2として80字以上100字以内であることが示されている。したがって「ウ」の「〇〇が△△するように、□□しようと思います。」が無くとも正解となる。しかし、児童にひとまとまりの文章を書かせたものを評価する際に教師が課題としていることは、整った表現がなかなかできないことではないだろうか。そこで、ここでは授業における評価のことを考慮し、「ウ」を追加した。児童の表現を評価する際、ポイントを重点化することが、効果的・効率的な指導と評価の手立てになる。

授業を構想する際には、その単元で指導す

る指導事項はどれか、どんな言語活動を通して指導するのが最適か、最終的に児童がどのように表現すればよいのかについて、教師は事前に想定しておくことが重要である。そのことを、この正答例と指導事項とのつながりを参考にして、考えていただきたい。

3 指導法改善の具体例

—単元を貫く言語活動について—

前項で述べた、言語活動の充実を図る授業を展開する上で有効な指導法として、単元を貫く言語活動を位置付けた国語の授業の展開例をお示ししたい（図2）。

単元を貫く言語活動を位置付けた国語の授業とは、指導事項を指導するのに最適な言語活動を、単元を貫いて位置付けることによってねらいを一貫させ、ぶれのない指導を行うとともに、児童にとっては、言語活動に対して一貫した目的意識や相手意識に基づいて、教科書教材を読んだり表現したりする、つまり、主体的に思考・判断・表現させることをねらったものである。

単元の段階ごとに、その内容を解説する。

- ◇ 単元名 椋鳩十作品の魅力について、話し合おう
- ◇ 教材名「大造じいさんとガン」
- ◇ ねらい〈読むことエ、オ〉

- ・ 登場人物の相互関係、叙述についての自分の考えをまとめる。
- ・ 自分の考えについて話し合い、考えを広げたり深めたりする。

〈単元を貫く言語活動（単元の学習課題）〉

椋鳩十作品の魅力「人間と動物とのつながり」について話し合う。

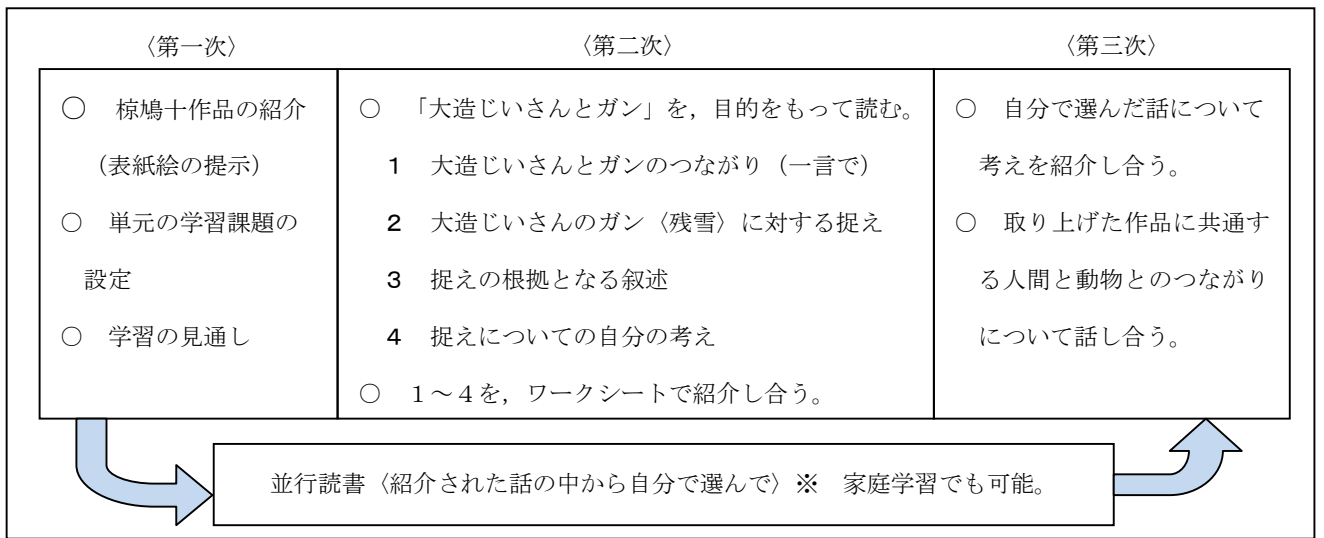


図2 単元を貫く言語活動を位置付けた単元構想の例

〈第一次〉

まず、「人間と動物とのつながり」をテーマに椋鳩十作品のブックトークを行う。具体的には、人間と動物が描かれた表紙絵をいくつか紹介しながら、「この人間と動物の間にはどんなつながりがあると思いますか。」と発問する。これらの活動を基に単元の学習課題を設定し、第二次、第三次の見通しをもたせる。その際、図3のワークシートを示し、これを使って自分の考え等を発表することを確認させる。ワークシートの各項目は、前項で述べた、指導事項と児童の表現とのつながりを具体化しているとともに、第二次の指導内容として設定してある。

〈第二次〉

次に、共通の教材である「大造じいさんとガン」を1～4の目的をもって読み、ワークシートを作成してグループで紹介し合う。合わせて、第一次で紹介のあった話の中から自分で選んだ話について、同じように目的をもって並行読書を行う。並行読書は、家庭学習で行うことも考えられる。

〈第三次〉

最後に並行読書してきた話について、第二次と同様にワークシートを用いてグループで紹介し合う。さらに、取り上げた作品に共通する人間と動物とのつながりについて話し合うことで、椋鳩十作品に描かれる人間と動物とのつながりについて考えをまとめ、シリーズで読書することへの意欲を喚起する。

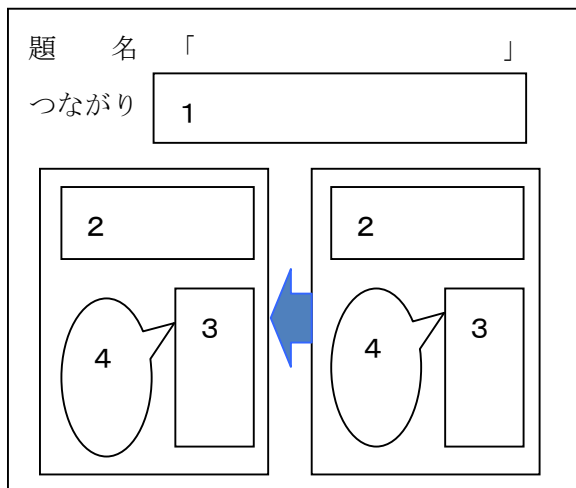


図3 第二次、第三次で作成させるワークシート

本資料をきっかけに、鹿児島学習定着度調査を生かした指導法改善の取組が、様々な形で工夫されることを期待する。

- 参考文献—
- 文部科学省『小学校国語学習指導要領解説 国語編』平成20年
 - 文部科学省『初等教育資料 6月号』平成26年
 - 『広辞苑 第六版』岩波書店
 - 『三省堂反対語便覧』平成16年 三省堂